

**第27号**

平成22年12月

●スペースパークボランティアの会●

# S.P.Vつうしん

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

## 鉄道フェスティバル&中町ウインターフェスティバル



### 鉄道フェスティバルに 参加して

今年度も恒例の鉄道フェスティバルが10月14日から開催され、入場者は3千人を超えたという。展示品は国鉄時代の「きっぷ」等は少なく、実際に動かして体験するものも展示され、模型のコーナーには沢山の鉄道少年が集まつた。このコーナーでは模型の持参者も多く、自分の持込んだ車両を走らせて楽しんでいる様子はほほえましく思えた。

年1回の開催ではあるが、多くの来館者が鉄道フェスティバルに参加して、鉄道の存在によって郡山市の発展に貢献したことを、もっと理解して戴ければと思う。

また、街こおりやまの11月号に同人の阿部さんが『鉄道は発展の原動力』という題で、郡山駅利用半世紀の回顧文が掲載されたが、22階の鉄道ジオラマでも鉄道と安積疏水が郡山の発展の基盤であると説明されているように、郡山にとって鉄道は街の発展を促す原動力になったという事を読んでみてうなづけた。

最後に、来年も10月に「鉄道フェスティバル」が開催されるが、

### 中町ウインターフェスティバルに参加して

美しい青空の下、ふれあい科学館の出展ブースは、子供たちの真剣な表情とたくさんの笑顔があふれていました。

11月7日に中町商店街ウインターフェスティバル2010が開催され、今年7月にボランティア登録をした私は、初めて館外の活動に参加しました。工作「くるくるタワー・星座盤作りの体験、紙芝居の実演という内容でしたが、多くの方が興味を持ち喜んで立ち寄ってくださいました。小さな手を一生懸命動かし完成させた工作に息を吹き込み動いたときのうれしそうな笑顔や、演者の問いかけに反応しながらキラキラ輝く目で紙芝居に引き込まれている表情は、秋晴れの空にも負けないぐらいの輝きました。

活動前は少々不安でしたが、終わる頃には先輩ボランティアや職員の皆さんに助けられながら、多くの笑顔を引き出すお手伝いができたかなと達成感を感じている自分がいました。そして、今後もたくさんの方々の笑顔に囲まれるような活動をしていきたいと思った一日となったのでした。ありがとうございました。(武藤芳子)



このイベントによって市民とふれあい科学館を結びつけるふれあいの架け橋となることを願うものである。  
(兼谷 豪)



### スペースパークボランティア募集!

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

**TEL024-936-0201**

# 新潟県立自然科学館&マリンピア日本海 観察研修



晴天の中、一路新潟めざしてバスは走りますが、山々の景色(まさに紅葉まつだ中)を見ながらの筆舌に尽し難いものでした。

到着～！ 新潟県立自然科学館…私、個人的には仕事で幾度となくこの地は訪っていましたが、初めて来た場所でした。ここは鳥屋野潟公園の中に建ち、野球場や運動公園が西側に、そして、県立図書館、県立文書館、生涯学習センターが東側にそれぞれ隣接する自然と一体化したすばらしい立地条件にある所でした。早速、大会議室(ホール？)にて職員、ボランティアの方々との対面が行われ、お互いの活動状況、抱負、困り事等々をざくばらんに語り合い、親交を深めました。ボランティアがなかなか思う様に集まらないこともあった苦労話が耳に残っています。

さて、いよいよ館内見学に移りましたが、真先にその館内空間の広さに驚きました。どこかの国の宮殿にでも迷い込んでしまった様な気さえした程です。そんな中、まず私の目に止まったのはブリキ製のカラクリ魚さんたちのメリーゴーランドでした。空中で泳いでいる姿はまるで「ハウルの動く城」の様でした。

お目当てのプラネタリウムは時間の都合で見学は叶いませんでしたが、館内空間を見渡すための展望室らしき小部屋(座席もあり)が何ヶ所もあり、そこから見渡すプラネドームは半月型の外周にまぶしい光が虹の様に入り、輪郭がくっきりと輝き、幻想的な光を放ってまるで絵画の様でした。よく考えられたデザインだと思いつつも、すでに30年が過ぎようとしているとは思いもよらなかったところです。「順路」に従い入ってゆくと、太陽系の惑星たちがお出迎えしてくれ

ましたが、それを見る私達はすでに宇宙船の中におり、スタートレック状態でした。(わからない人がほとんど？)

次は古代恐竜たちの巨大ジオラマがあり、各所に本物の恐竜たちの「化石」に直接に手で触れることができ、大人ながらも感動しました。(いにしえの地球を肌で感じました。)

横にもう一棟並んで同じように建てられているフロアに行くと現代科学のコーナーでリニアモーターカーが忙しく往復しており、ほとんどの方が激写しておりました。自然現象を体験できる竜巻コーナー等、多数あって、真に自然・人間・電気の不思議さを目の当たりに感じられる場所でした。

小さなお子さんをお持ちの親たちにとっては「教育」する必要など全くない、野放しで遊ばせておいても自然に身に付き、見て触れて、感じて科学を知る、まさに人間力を豊かにする体験型施設なのだなあと思いました。

職員・ボランティアの皆様方におかれましては温かいお出迎えをしていただきたばかりか、懇切丁寧に案内までしていただき、感謝に堪えません。是非次回は郡山へおいでいただければ存じます。そして同行していただきました館長・会長・学芸員・職員の皆々様には心からお礼申し上げます。

P.S.

それにしても、あんなにも広い施設内を毎日かけめぐっていらっしゃる皆々様の運動量たるものや、いか程なものなのでしょうか？私にはとてもマネのできない事だなあと、持病と闘う現実の自分に戻り、改めて元気をいただけた今回の訪問でした。

(菅沼 一美)



『私たちが今回訪れたマリンピア日本海は、7月27日に開館20周年を迎えました。1964年の新潟地震復興を目的として、1967年に新潟市立水族館が開館、1990年にマリンピア日本海がリニューアルオープンしたそうです。

マリンピア日本海といえば、魚を横からだけでなく、下からも見上げることができるマリントンネルがある日本海大水槽や、アザ

ラシやアシカ、トドを見る事ができるマリンサファリ、ペンギンを見近で見渡すことができるペンギン島、イルカのショーを見る事ができるイルカショーブールなど、一日中見ても時間が足りないほどの施設です。

私たちが訪れたときはたまたま時間が合わず、ボランティアの方々と交流をさせていただく時間や、バックヤードツアーを見学させていただく時間があまりとれず残念でしたが、施設を見学させていただいたことで、感動させていただきました。

特にイルカショーは、ダイナミックなイルカのジャンプや泳ぎを見ることができただけでなく、イルカのオススメの見分け方、鼻の位置などを説明していただき、勉強することができました。

その他、クリオネや、今年生まれのホシエイ、ゴマフアザラシの子供を見ることができたはずなのですが、見逃してしまいました。それから、ドクターフィッシュと言われるガラ・ルフアの接触体験には、ちょっと勇気が出ませんでした。最後に、開館20周年記念メダル購入し、充実した研修となりました。

(降矢 尚樹)



## 大洗水族館【アクアワールド】ボランティア交流に来館

平成21年度S.P.V全体研修先として2月14日(日)に訪問し、温かい歓迎を受けた、大洗水族館【アクアワールド】のボランティア会員が、郡山市ふれあい科学館を訪れS.P.Vとより深い交流会を行った。

アクアワールドは年中無休(機械点検等で数日の休館日有)で、100名以上のボランティア会員を有しているために、10月3日(日)に31名、10月7日(木)に34名と2班に構成され、合計65名がバスで到着し多目的研修室に集合した。22年2月の「福島・ごむくむ」に続く2回目のボランティア交流会である。

今回は科学館とS.P.V紹介プレゼンテーションの準備が万全に整っており、説明を受けたあとは早速「プラネタリウム観賞」「展示コーナーでの体験・工作」「展望ロビーでの紙芝居・鉄道ジオラマ」と制限時

間一杯まで楽しんでいた。

活動の場が海との関わりが強いこともあって、サイエンススタジオ“塩の科学”には多くが参加して岩塩作りに熱中し、ワークショップでは“ぶつとびロケット”作成を楽しみ歓声を上げていた。帰路のバスでは双方が手を振って見送り、無事に交流会は終了した。

他施設研修の成果がこのような仲間の輪を広げる結果になった。

今年度の研修先は『新潟県立自然科学館』『新潟市立水族館・マリンピア日本海』となったが、交流の輪が今後どのように展開していくのか期待と不安が入り混じっている。

(久野 功)

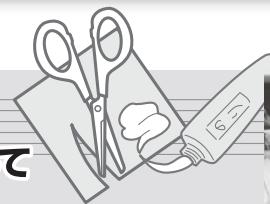


## 科学 グループ 「こども体験ひろば 2010in郡山」に参加して

科学グループは11月20日(土)郡山市総合体育館にて開催された、福島県子育て支援課主催の「福島県こども体験ひろば2010in郡山」におきまして、出張活動を行いました。子どもの体験をテーマにしたイベントで、昔の遊びや工作、福島県のゆるキャラたちも登場し、和やかな雰囲気の中、親子でさまざまな体験や出し物を楽しんでいました。

今回、親子体験ものづくりコーナーにて行った工作メニューは「くるくるタワー」で、親子一緒にになって、ものづくり体験に挑戦して頂きました。息を吹きかけるとストローの風車がくるくると回り、タワーをのぼるものでした。天井もいつもの会場より高い体育館なので、タワーの高さの限界に挑戦したくなる環境の中での活動でした。

スタッフが完成見本を見せると興味をそそり、子どもたちの目



は好奇心があふれていって、「作りたい。」と言って近寄ってきます。見本を参考に作り方の説明を聞かなくとも、実際に自分で工夫しながら製作していく子どももいて、面白い発想や工夫をしている真剣な表情が見受けられました。自分で考え、自分の力で作ったもので遊び、風車がくるくると回らなければ、何故なんだろうと不思議を見つけ考ることにより、遊びながらものづくりのプロセスを理解していました。

子どもから大人まで、作る喜び、達成感をあじわいながら、夢中になって取り組んでいました。(熊谷 晃)



きっと誰もがはじめに覚える星座の中に、入っているのではと思います。整いました、と言わんばかりに夜空に輝くWの5つ星。それがカシオペア座です。このカシオペア座、実は北の方角を探す目印とも言われています。周極星と言って、北極星のまわりを巡ってずっと沈まないでいるのがその所以です。

冬の寒さの中、星たちはいつになく揺らめき、そしてきらめきを増しているように見えます。今宵あなたも、あったかい飲み物を片手にカシオペア座を探してみてはいかがでしょうか?



## 内田博士の 魂の叫び!! ㉑『誠実なコミュニケーション』

小生、英語の勉強には苦労していて、上手く行かないが故によこしまなことを考えたりするのでした。思うに、当然ながら外国語のテキストに描かれる家庭や町は大抵善意と善人に満ちているんですね。マイクやジェーンに行儀悪い話や世の憂さを語らせるわけにはいくまいし。だけど、本来会話は世の現実を結ぶ手段のはずだと思うのね。事実大半の日本人にとって間近に見る外国人とどう意を通じ合うか。まず「会話道」というのがあって、「機転利かし、勇敢に、臆せず」「封建的な言語心理からの脱却」を説かねばと思うのでした。お辞儀したり、あいさつ代わりに「どちらへ?」(Where are you going?)と聞くのもいけないわけで…(彼らはどこへ行こうと他人の干渉は受けないから大変だ。)。

戦後間もない英会話の教材に、「誰か?」「日本人です」「出ろ!」「早く

しろ!」「撃つな!」「動くな!」「助けて!」「証明書を見せろ!」娯楽と慰安のホールの場面もあるんですね。「ひとつ踊ってください」「どうぞお願ひ致します。随分踊りなさるのでしょう」。旅館では、「シャボンと便所紙とタオルはないでしょうか」「お気の毒様です。戦争以来そういう物は手に入らないのです」と…時代背景が複雑とは言えGHQの思惑が何だったのか、ともあれ田中角栄は外国のVIPと会う際には、通訳任せにはせず、英文に仮名をふった原稿を暗唱するに留まらず秘書官を傍らに、間の取り方からジェスチャーに至るまで練習したのだと。

いずれにせよ懸命な当時の人々の姿を想像しながら会話が今と違い言葉を大切にする古き良き時代。リアルに生きる術ってこういうことなのかなあと思う今日この頃でした。


**イベント情報**

# Event Information

## ボランティアまつり

会場:22階展望ロビー 参加費:無料

●3/19(土)~21(月・祝)

10:00~17:00



毎年恒例の“スペースパークボランティアまつり”が開催されます。

大活躍中のボランティアグループが今年繰り広げた様々な活動の集大成をみなさんにお贈りします。昔懐かし紙芝居の実演など楽しい企画がいっぱいです!みなさまのお越しをお待ちしております。



## 今号のきら星☆さん

案内サービスグループ 原 弘子さん



案内サービスグループに参加して、2年目に入りました。22階からの眺望抜群の中、まだまだ不慣れではあります、お客様とのコミュニケーションを楽しみに、そして大切にしながらお手伝いさせていただいています。

案内サービスボランティアということですが、郡山に住んでいながら私自身がまだよく知らない郡山を先輩方に教えていただき、活動しています。例えば、紙芝居を通して郡山にまつわる伝説等のお話など…子供達は紙芝居が大

好きです。演じる方もそれなりに緊張するのですが、一緒になってハラハラドキドキしたり、笑ったり…いろいろな事を感じながら心と心が響き合って、その場がひとつになっていくような雰囲気を味わっています。

また、ボランティアミニツアーでは、仲間の皆さんと一緒に郡山の「歴史あれこれ」を探査することが、ちょっとした遠足気分のようで楽しみなところです。時には出張活動にも参加してのお手伝いは、私のできることを楽しみながらの参加なので、逆に元気をもらったり自分への活力にもつながっているように思います。これからもよろしくお願いします。

## S.P.V 活動情報(~3月)

ほかに公民館など市内出張活動を予定

### 案内サービス “昔懐かし”紙芝居 (約15分)

◇随時実演 ☆展望ロビー(北)

### 鉄道ジオラマ ジオラマショー案内 (約20分)

◇11:00~、15:00~、17:00~ ☆展望ロビー(東)

### 科学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00~15:30 ☆21階展示ゾーン入館者対象

### 天 文 天体観望会

◇3/5(土) 19:00~20:00 ☆郡山駅西口駅前広場

◇3/12(土) 19:00~20:00 ☆郡山駅西口駅前広場

◇3/19(土) 19:00~20:00

☆郡山駅西口駅前広場

◇3/26(土) 19:00~20:00

☆郡山駅西口駅前広場



※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第28号 3月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報を  
HPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……**郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで**

編集  
あとがき

(国)風邪をひき易い季節となりました。感染しないよう、させないよう、ウガイ手洗いの励行で予防しよう。

(隆)「はやぶさ」帰還おめでとう。「はやぶさ」開通おめでとう。科学館ますます重要。

(猪)「コタツ」にもぐり考える。この冬は何を作ろうか?

(椎)疲れがたまる今日この頃…年末年始を楽しみに、今は星を眺めましょうか…??



ミックス品  
FSCの認証林で育まれた  
森林からの製品マークです  
[www.fsc.org](http://www.fsc.org) Cert no. CU-COC-807968  
© 1996 Forest Stewardship Council



PRINTED WITH  
SOY INK™

この印刷物は、環境にやさしい大豆油インキと  
FSC認証紙を使用しています。  
紙へリサイクル可。